

I 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果概要

1 実施概要

- (1) 実施日 令和5年4月18日(火)
- (2) 対象学年 小学校第6学年・中学校第3学年
- (3) 実施教科等

ア 教科に関する調査

- ・小学校第6学年：国語、算数
- ・中学校第3学年：国語、数学、英語

注：「主として『知識・技能』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」とを一体的に問う問題が出題されている。

注：中学校で4年ぶり2度目となる英語の教科調査が実施された。「話すこと」調査については、1人1台端末等を用いたオンライン方式により実施。

イ 質問紙調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する児童生徒に対する調査
- ・学校における指導方法に関する取組等の学校に対する調査

2 平均正答率の状況（京都市含む）

	国語		算数・数学		英語 ※話すことを除く3技能 (読む・聞く・書くこと)	
	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国
小学校	70	67.2	65	62.5		
中学校	71	69.8	52	51.0	47	45.6

3 結果の概要

○ 教科に関する調査

小学校、中学校ともに、全ての教科で平均正答率が全国平均以上であり、下位層の割合が全国値よりも低い。

○ 質問紙調査

京都府においては、授業におけるICT機器の使用頻度が全国に比べて高い。